

9. 生涯学習の評価

(1) 生涯学習成果の評価に対する考え

生涯学習成果が世の中で評価されることについての考えをみたのが、図 86 である。

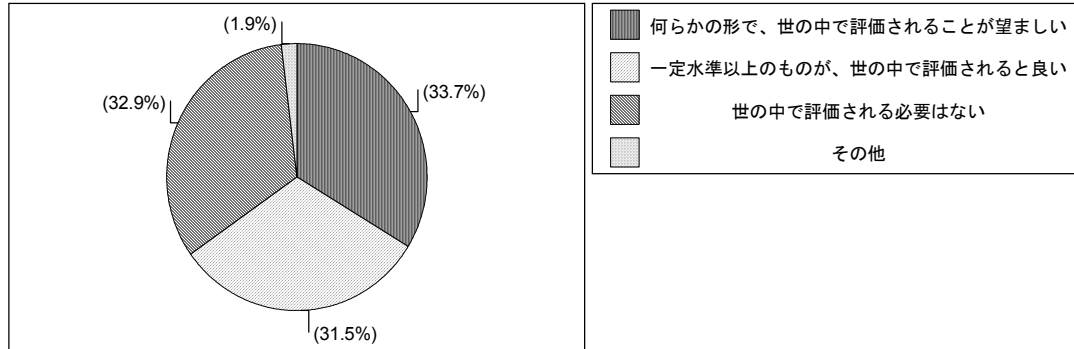


図 86 生涯学習成果の評価に対する考え

その結果、「何らかの形で、世の中で評価されることが望ましい」と回答した人の率は、33.7%、「一定水準以上のものが、世の中で評価されると良い」と回答した人の率を合わせると、65.2%の人が、世の中の評価を望んでいた。

これを性別にみたのが、図 87 である。

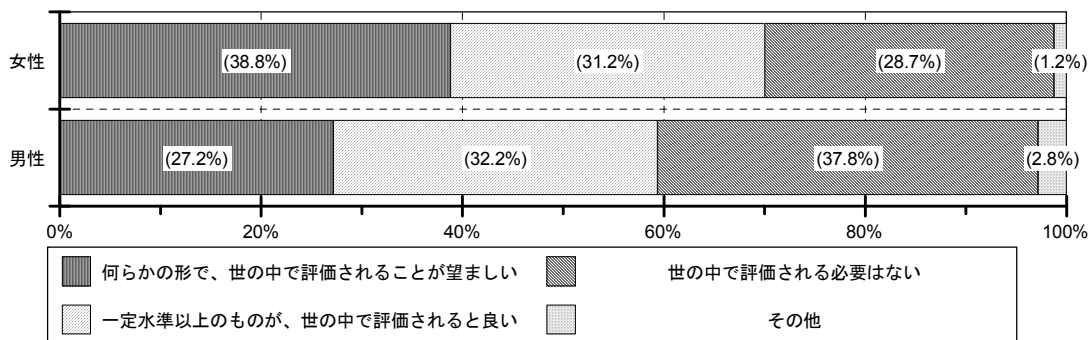


図 87 性別にみた生涯学習成果の評価に対する考え

その結果、世の中の評価を望んでいる人の率は、「女性」で 70.0%、「男性」で 59.4%であり、「女性」の率が高くなっていた。

次に年代別にみたのが、図 88 である。

その結果、世の中の評価を望んでいる人の率は、「成人前期」の人で 76.7%、「成人中期」の人で 66.1%、「成人後期」の人で 57.4%であり、その率は、年代が低くなるにつれて高まる傾向が認められた。

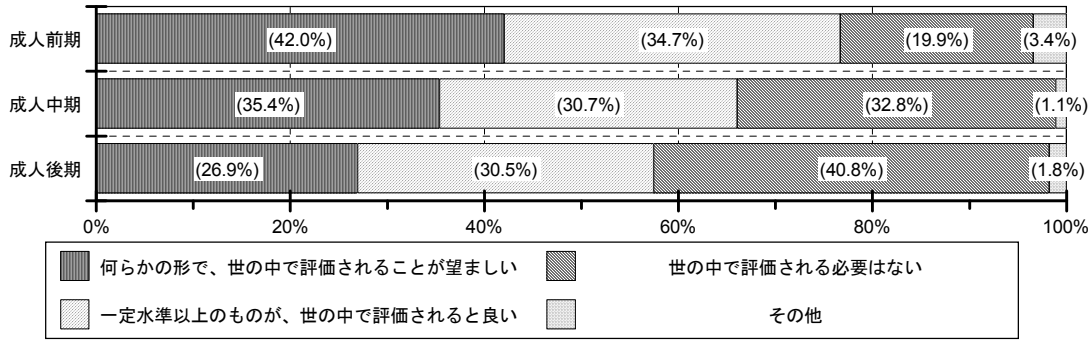


図 88 年代別にみた生涯学習成果の評価に対する考え

(2) 生涯学習成果の世の中での評価のされ方

生涯学習成果の世の中での評価のされ方についてみたのが、図 89 である。

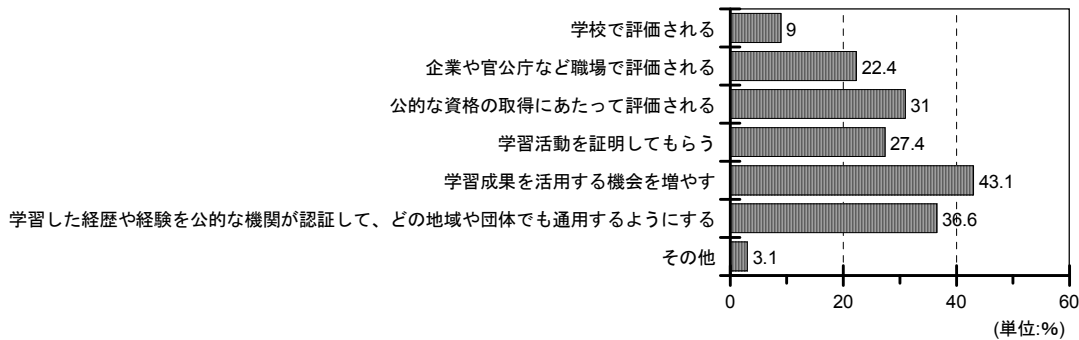


図 89 生涯学習成果の世の中での評価のされ方

その結果、評価のされ方としては、「学習成果を活用する機会を増やす」をあげた人の率が 43.1% 最も高く、次いで「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする (36.6%)」、「公的な資格の取得にあたって評価される (31.0%)」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図 90 である。

その結果、男女とも「学習成果を活用する機会を増やす」をあげた人の率が最も高く、次いで「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする」であることは共通していたが、次いで「女性」では「公的な資格の取得にあたって評価される」、「男性」では「学習活動を証明してもらう」となっていた。

相対的にみると、「公的な資格の取得にあたって評価される」と「学習成果を活用する機会を増やす」では「女性」の率が高くなっていた。

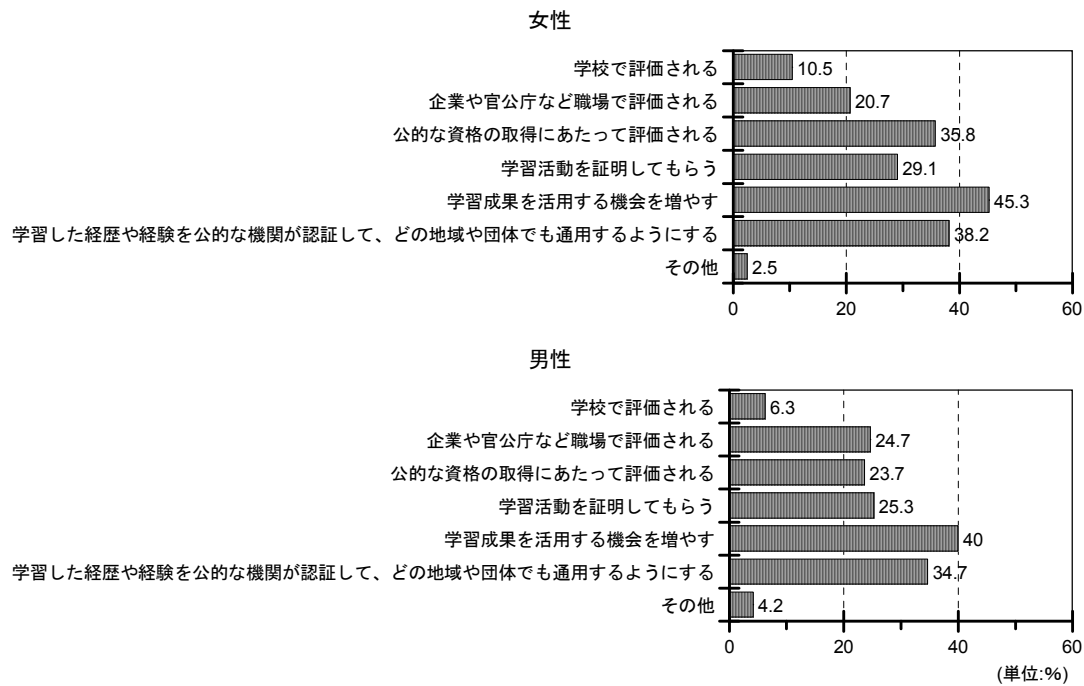


図 90 性別にみた生涯学習成果の世の中での評価のされ方

次に年代別にみたのが、図 91 である。

その結果、まず「成人前期」の人では、「公的な資格の取得にあたって評価される」をあげた人の率が 43.7%でもっとも高く、ついで「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする (42.2%)」、「学習成果を活用する機会を増やす (40.7%)」の順となっていた。次に「成人中期」の人では「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする」をあげた人の率が 40.3%でもっとも高く、次いで「学習成果を活用する機会を増やす (39.8%)」、「公的な資格の取得にあたって評価される (35.9%)」の順となっていた。そして「成人後期」の人では、「学習成果を活用する機会を増やす」をあげた人の率が 48.8%でもっとも高く、次いで「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする (27.8%)」、「学習活動を証明してもらおう (18.5%)」の順となっていた。

相対的にみると、「企業や官公庁など職場で評価される」、「公的な資格の取得にあたって評価される」、「学習活動を証明してもらおう」では「成人前期」の人の、「学習した経歴や経験を公的な機関が認証して、どの地域や団体でも通用するようにする」では「成人前・中期」の人の、「学習成果を活用する機会を増やす」では「成人後期」の人の率が高くなっていた。

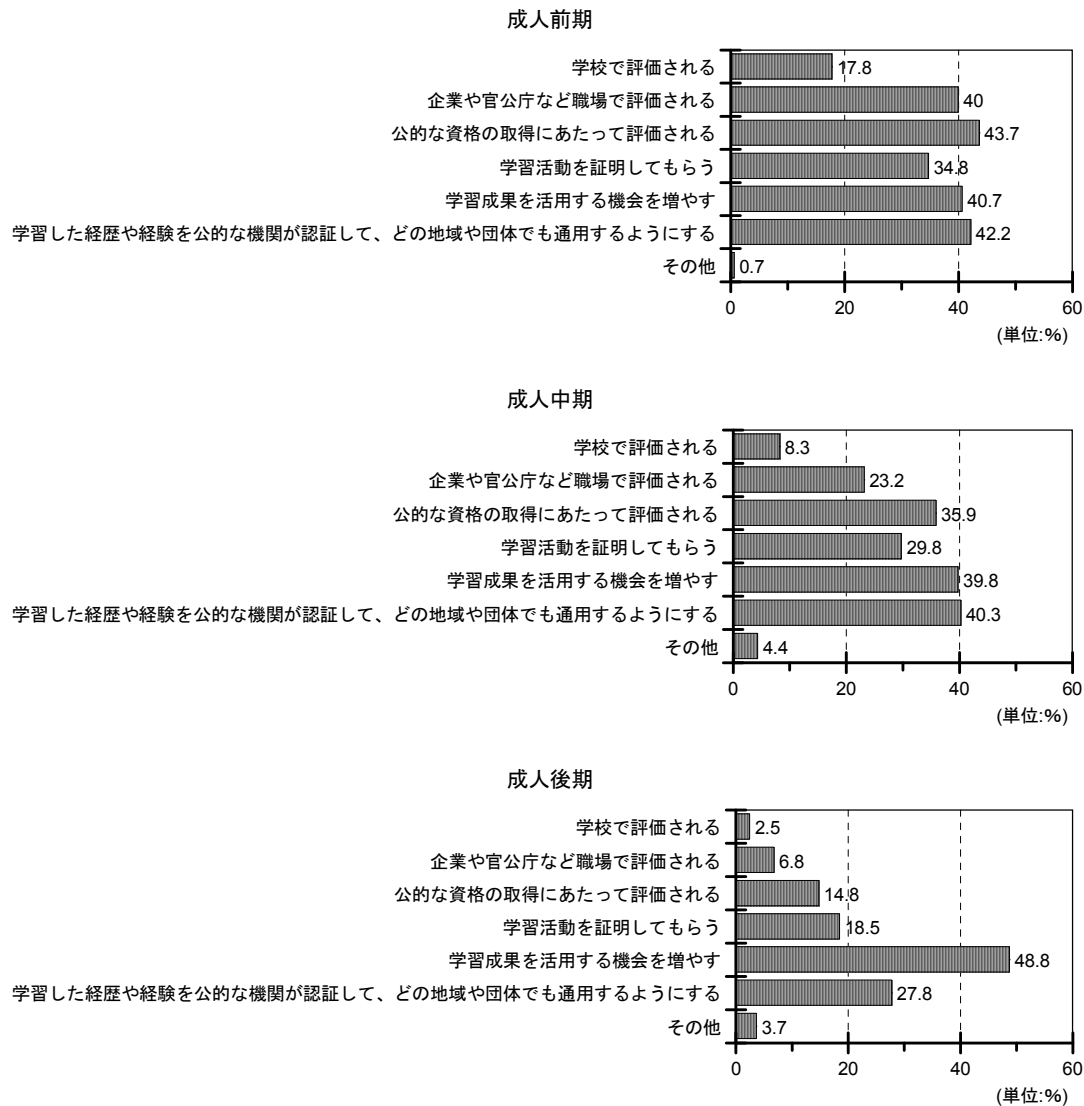


図 91 年代別にみた生涯学習成果の世の中での評価のされ方

(3) 世の中での評価を望む理由

世の中での評価を望む理由をみたのが、図 92 である。

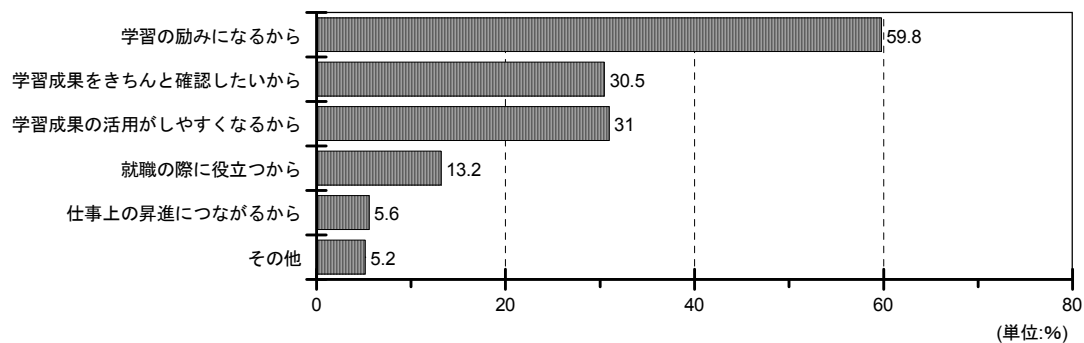


図 92 世の中での評価を望む理由

その結果、理由としては、「学習の励みになるから」をあげた人の率が59.8%でもっとも高く、次いで「学習成果の活用がしやすくなるから（31.0%）」、「学習成果をきちんと確認したいから（30.5%）」の順となっていた。

これを性別にみたのが、図93である。

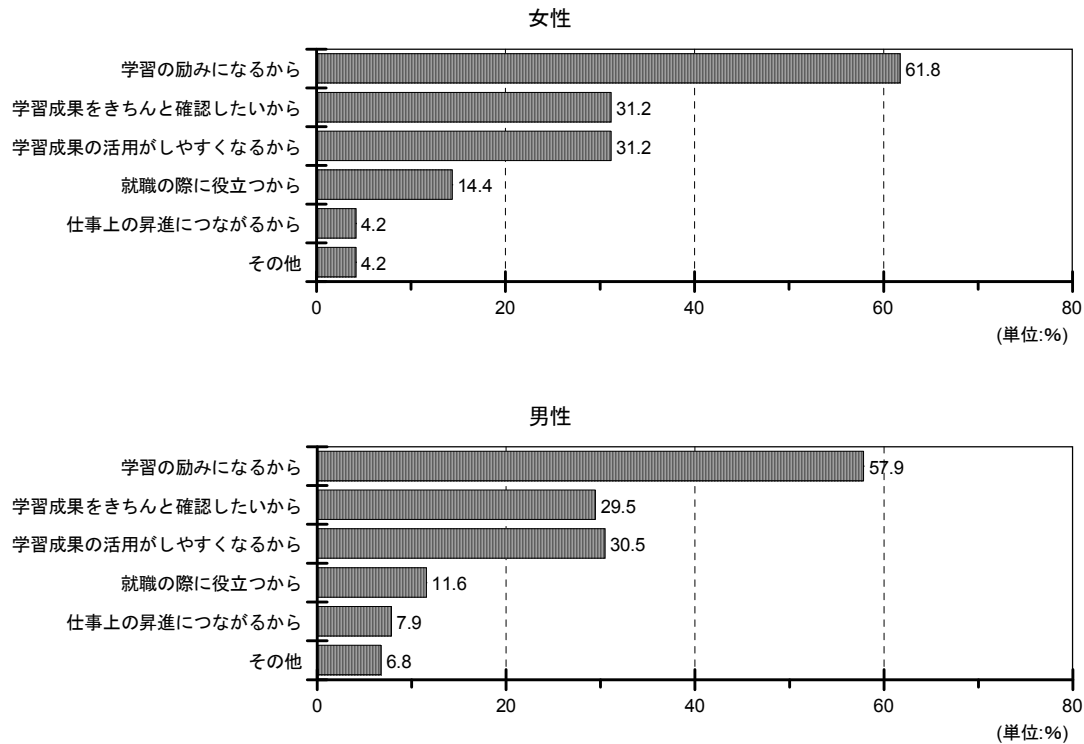


図93 性別にみた世の中での評価を望む理由

その結果、男女とも「学習の励みになるから」をあげた人の率をもっとも高いことは共通していたが、次いで「女性」では「学習成果の活用がしやすくなるから」と「学習成果をきちんと確認したいから」、「男性」では「学習成果の活用がしやすくなるから」、「学習成果をきちんと確認したいから」の順となっていた。

次に年代別にみたのが、図94である。

その結果、すべての年代で「学習の励みになるから」をあげた人の率をもっとも高いことは共通していたが、次いで「成人前・中期」の人では「学習成果の活用がしやすくなるから」、「学習成果をきちんと確認したいから」の順、「成人後期」の人では「学習成果をきちんと確認したいから」、「学習成果の活用がしやすくなるから」の順となっていた。

相対的にみると、「就職の際に役立つから」では「成人前期」の人の、「学習成果の活用がしやすくなるから」では「成人前・中期」の人の率が高くなっていた。

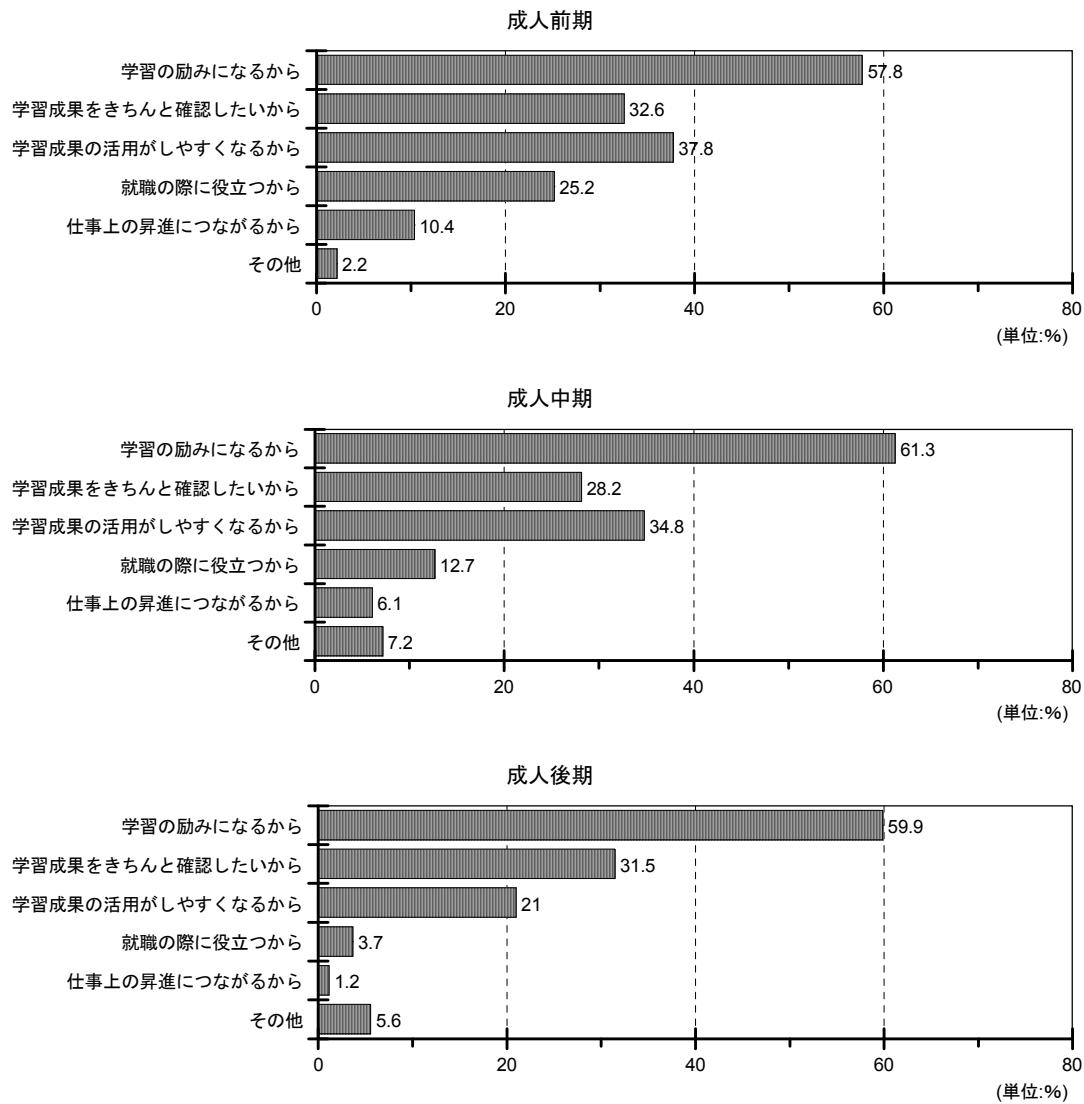


図 94 年代別にみた世の中での評価を望む理由